

Subject: 【ご案内】令和5年度「薬物相談業務研修」の開催について

From: [REDACTED]

Date: 2023/06/22 16:51

To: 'がん・疾病対策課' <hoyo-seisin@pref.kanagawa.lg.jp>

神奈川県ギャンブル等依存症対策推進協議会委員 各位

お世話になっております。
神奈川県がん・疾病対策課の小佐野と申します。

神奈川県精神保健福祉センターにおいて、薬物依存症の相談業務に従事されている方向けの「薬物相談業務研修」を実施することとなりましたのでご案内いたします。

参加ご希望の方はチラシ記載の方法でお申込みいただくとともに、必要に応じて周知にご協力いただけますと幸いです。

神奈川県

健康医療局 保健医療部 がん・疾病対策課
精神保健医療グループ 小佐野 靖規

〒231-8588

横浜市中区日本大通 1

Office: 横浜市中区本町2-22 京阪横浜ビル 2階

TEL 045-210-4727 (内線:5189)

FAX 045-210-8860

e-mail [REDACTED]

hoyo-seisin@pref.kanagawa.lg.jp (共用)

添付ファイル:

R5薬物相談業務研修チラシ.pdf

370 KB

令和5年度

薬物相談業務研修

県内で薬物依存症の相談業務に従事されている皆様を対象に、研修を開催いたします。
依存症の背景には、さまざまな生きづらさを抱えている人が多いと言われています。特に女性の依存症は、背景に暴力等の被害体験や高い自殺念慮等の問題があります。薬物依存症やさまざまな問題に苦しむ女性たちに、どのような支援ができるのかを学ぶ研修です。
皆様のご参加をお待ちしております。



- ◆日時 令和5年8月1日(火) 14時00分～16時00分
- ◆会場 Zoomによるオンライン開催
- ◆対象 神奈川県内の薬物依存症支援に関わる関係機関の職員
- ◆定員 70名

✚ 「薬物依存症の支援の実際
～女性の支援に焦点を当てて～」
講師:大嶋 栄子氏 (精神保健福祉士)
(NPO 法人リカバリー代表、
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所客員研究員)

✚ 「回復に大切なこと、支援者に伝えたいこと」
当事者2名の体験談

◆申し込み方法、Zoomでの参加方法については、裏面をご覧ください。

問合せ先
神奈川県精神保健福祉センター相談課
電話 045-821-8822(代表)
平日 8:30～17:15

【講師プロフィール】

◇ 大嶋 栄子 氏

精神科ソーシャルワーカーを経て、2002年にさまざまな被害体験を背景にもつ女性の支援を行う「それいゆ」を立ち上げる。2004年、NPO法人リカバリーとして認証され、現在4か所の施設を運営。主な著書に、『生き延びるためのアディクション』（金剛出版）、『その後の不自由』（上岡陽江と共著、医学書院）、『嵐のあとを生きる人たち』（かりん舎）等がある。

【令和5年度 薬物相談業務研修 お申し込み方法】

- 神奈川県精神保健福祉センターホームページ、または、チラシ記載の二次元コードから、電子申請システムによりお申込みいただけます。

🔍「薬物相談業務研修 神奈川県精神保健福祉センター」で検索

<申込み>

- 申し込み期間: 令和5年6月21日(火)～7月18日(火)

※利用者登録なしでご応募可能です。

※個人情報を本事業以外に使用することはありません。

※定員を超えた場合は、抽選となります。



<Zoom でのご参加にあたって>

- ◆前日までに Zoom ID、パスコード等をお送りします。
- ◆パソコン、Zoom の環境設定は研修前までに各自でお願いします。
- ◆録音・録画、動画 URL の無断共有、チャットでの誹謗中傷、参加者の情報公開は固く禁止させていただきます。

問合せ先

神奈川県精神保健福祉センター 相談課

電話 045-821-8822(代表)

平日 8:30～17:15